

令和3年度

《《港北シニアリーグ入団案内》》

『港北シニアリーグの方針』

港北シニアリーグは、野球を愛する少年達の夢を育み、硬式野球を正しく指導し、体力の向上とスポーツ精神の育成を目指します。また、少年同士の交流の場を与え、規則正しく明朗で思いやりのある少年を育成し、地域社会に貢献することを目的としています。

指導者と父母会が一体となり、野球を通じて子ども達の「自立」と「共存」を養い、地元の「鶴見川河川敷」及びホームグラウンドである「厚木七沢グラウンド」の整った環境の下で、選手一人ひとりの長所を伸ばし、野球のみならず高校進学のため学業とも両立を計ることで、充実した中学校生活が送れるようにサポートしています。

☆ 名称 港北シニアリーグ

港北リトルシニア

kohoku senior baseball team



☆ 所属

一般財団法人日本リトルシニア中学硬式野球協会
関東連盟・南関東支部



港北シニアは、関東連盟・南関東支部・東ブロックに所属しています。

関東連盟は東東京・西東京・東関東・南関東・北関東の5支部に分かれ、南関東支部は北・東・西・南・静岡の5ブロックに分かれています。

☆ 入団資格

中学生 他のリトルシニアチームに所属していない中学1年生～3年生
中学3年生は、8月まで公式戦参加可能
小学生 他のリトルシニアチームに所属していない小学6年生
小学生の場合は、中学生になるまで練習生としての所属となります。

☆ 活動日

土曜日、日曜日、祝祭日 午前8：00～午後5：00

但し、厚木グラウンドでの練習時の集合時間は、午前6：30です。

平日練習はありませんが、自主参加による夜練を監督の仕事先である工場の空きスペースを利用させてもらい、おもにティーバッティング及び基礎体力向上のためのトレーニングを実施しています。

- ☆ 練習場所
- **横浜市港北区綱島東河川グラウンド** （樽綱橋北側、鶴見川河川敷）
(横浜市港北区綱島東 6 丁目付近)
 - * グラウンドが狭く、内・外野の連携したチーム練習ができないため、おもに「捕る」「投げる」等の基本練習を実施しています。
 - **厚木市七沢グラウンド（文化学園グラウンドを借用）**
(厚木市七沢2110番地) 集合場所からの移動時間は、概ね70分です。
 - * チーム練習及びバッティングマシンを使用したバッティング練習を重点に実施しています。このグラウンドは、2001年4月からシニアOBの父兄のご協力により借用させてもらっており、現在のグラウンド周りは歴代の父兄の協力を得て作り上げたものです。現在も年1～2回の集中したグラウンド整備を行っています。
 - * 雨天時の練習
厚木グラウンドが使用不可能の場合は、樽綱橋の橋の下のスペースを使い、できることを練習しています。（監督の判断・指示）
- ☆ 主な大会
- 全国選抜野球大会・南関東支部春季大会・関東連盟春季大会・関東連盟夏季大会・ブロック2年生大会・全国野球選手権大会・神奈川県大会・南関東支部秋季大会・関東連盟秋季大会・クラストカップ争奪大会・南関東支部1年生大会・ミサワホーム争奪大会
- ☆ 会費
- | | |
|---------|---------------------------|
| 入団費 | : 5,000円 |
| リーグ会費 | : 12,000円 / 月 (月末に翌月分を徴収) |
| 連盟登録費 | : 2,000円 / 年は、リーグ費より充当 |
| スポーツ保険料 | : 2,000円 / 年は、リーグ費より充当 |
- ☆ 入団申込
- 入団申込書
- 住民票（選手本人のみが記載されたもので結構です）
- ☆ 野球用具
- チーム指定品 試合用ユニフォーム・帽子(試合用練習用)・スパイク（黒）・ストッキング（ロイヤルブルーに赤・白横線）・アンダーシャツ（紺）・アップシューズ（白）・グラウンドコート・セカンドバック（黒）
- ※公式戦用ユニフォーム及び練習試合用セカンドユニフォームの上着は、チーム所有とし選手へ貸与しています。
- 指定外品 練習用ユニフォーム（上下白）・グローブ・バット（貸与可）
- ☆ 父母会
- 父母会は、選手の活動を円滑に支援するため、いくつかの役割も含めて、皆さんのご

協力の下で運営しております。

練習・試合時のお茶係、移動時の車出しもご協力いただける方にお願いしております。（選手は基本的にチームバス移動になります）

☆ 行事 ・歓迎会（5月）・総会（9月）・卒団式、送別会（11月）

・忘年会（12月）・必勝祈願（1月）・新年会（1月）

☆ 会費の内訳 ボール代、グラウンド整備用備品、遠征費用（高速道路代）、倉庫費用、連盟登録費用、選手登録費用、各種公式戦参加費用、連盟総会費用、各支部会議費用、行事費用、各支部会議費用、選手・保護者スポーツ傷害保険、港北シニア事務経費、参拝料、練習試合開催諸経費、選手用スポーツドリンク代、お茶代などが含まれます。

☆ その他 《練習・指導方法》

監督方針により学年15人程度までしか受け入れません。それは試合経験（場数）を踏ませるからこそ得るものは大きく、それ以上の部員数では試合に出れない子供がでてしまうからです。勝ち負けもちろん大事ですが、志を持ち入部頂いた子供達一人ひとりの夢実現に向け、1年生から3年生まで平等に練習環境を与え、指導者の目が行き届く人数は？という思いから少人数での活動を行っております。

また、名のある私学にどれだけ入れるかといったチームも多いですが、監督は本人の将来を見据え、高校を卒業し大学や社会人に無事進むまで、相談に乗り、自ら動き、自分の子供のようにバックアップし続けてくれるのも当シニアの大きな特徴です。

新入生にとって、中学校の部活動と勉学、及び高校野球進学についてなど気になることがあると思いますが、遠慮なくご相談ください。監督を始めとしたスタッフが親身に相談にお答えいたします。

《主な進路先》

藤嶺藤沢・横浜商大・横浜隼人・横浜高校・日大日吉・慶應義塾・横浜創学館・武相高校・東海大相模・横浜商業（Y校）・山手学院・鎌倉学園・橘学苑・麻布大淵野辺・日体荏原・東海大高輪台・駒沢付属高校・大森学園・東京高校・日本航空・鶴見大付 等。その他公立高校への進学もあります。

また、港北シニアを巣立ったOBは2016年NPBドラフト会議2位指名をはじめ、全日本選手権に選ばれた選手や甲子園出場を果たした選手も数多くいます。さらに、指導者として活躍するOBもあり、県内の学校で4名の港北シニアのOBが高校野球の監督やコーチとしてチームの指導・育成に当たっております。



☆ 港北シニアスタッフ

役員	会長	森 聰一郎
	副会長	友利 光夫
	副会長	杉山 和彦
管理部	部長 (GM)	江口 邦人
	副部長	若林 実
事務局	事務局長	四家 與四男
	事務局次長	榊 剛志
	スカウト部長	小池 宣裕
	事務局	関 悟郎
指導者	監督	江口 邦人
	ヘッドコーチ	中里 孝輝
	コーチ	郡司 利幸
審判部	審判長	若林 実
	審判員	原田 清馬
	審判員	横溝 薫
	審判員	渕上 諭
	審判員	草柳 清文

☆ お問い合わせ先

四家事務局長

TEL/FAX 045-541-0211

携帯 070-6668-3615

田口事務局

TEL 070-5559-8834

Mail [taguchi_n01@yahoo.co.jp](mailto>taguchi_n01@yahoo.co.jp)

FAX 045-330-5963

なお、詳細につきましては、事務局長又は事務局までお問合せください。